

# 座長・発表者へのご案内

## 1. セッション記号の見方

演題番号の中にありますセッション記号は以下の通りです。

セッション記号	セッション名
SL	特別講演
ICL	国際文化講演
CS	文化セミナー
EIC	Editor-in-Chief Forum
CP	委員会企画
SP	特別シンポジウム：科学の追求と実践知の涵養
SY	サブスペシャルティシンポジウム
VS	ビデオシンポジウム
MS	第23回医療安全講習会
FD	第22回 Faculty development (FD) コース
O	一般口演
P	一般ポスター
LS	ランチョンセミナー
AS	アフタヌーンセミナー
SS	スポンサードシンポジウム
GP	GREEN Project

## 2. 座長の先生方へ

- 1) セッション開始のアナウンスはいたしません。定刻になりましたら、セッションを開始してください。
- 2) 進行管理はお任せいたします。セッションの持ち時間、発表時間の目安、質疑応答時間等を勘案いただき、時間厳守にご協力ください。
- 3) 現地でご参加の場合は、セッション開始15分前までに口演会場内右手の次座長席におこしいたいただき、進行係にお声がけください。（座長受付はありません）
- 4) Zoomでご参加の場合は、事前に電子メールでお知らせしたZoom URLと登壇方法をご確認のうえ、指定の時間までにZoomへ接続してください。なお、Web参加にあたっては、安定したインターネット環境での操作をお願いします。可能であれば、有線LANを推奨いたします。

### 3. 発表

時間厳守にてお願いいたします。

#### 1) 特別企画、委員会企画、シンポジウム等

原則、現地会場にておこしいただき、PowerPointを使用しての発表をお願いしております。電子メールでご案内の発表時間をご確認ください。

#### 2) 一般口演

原則、現地会場にておこしいただき、PowerPointを使用しての発表をお願いしております。発表6分、質疑応答2分

#### 3) 一般ポスター

Web上にてPDFでの発表となります。発表データの作成およびデータ登録の方法は、電子メールでご案内した方法をご確認ください。

### 4. 口演発表手順

#### 現地参加の場合

#### 1) セッション開始45分前までに、下記いずれかのPC受付にて受付・試写をお済ませください。

3密を避けるため、時間に余裕を持ってお越しください。

基本的には先着順にて対応いたしますが、やむを得ず早い時間の発表の方を優先させていただく場合がありますのでご了承ください。

#### 【PC 受付】

受付場所	10月27日 (水)	10月28日 (木)	10月29日 (金)	10月30日 (土)
国立大ホール 1F マリンロビー	7:30～ 18:00	7:45～ 17:00	7:45～ 17:30	8:00～ 12:30
会議センター 1F エントランスホール				*30日のみ 会議センター 5F ホワイエ

#### 2) 発表はPCプレゼンテーションのみです。

#### 3) 発表データは、PC本体をご持参されるか、メディア（USBフラッシュメモリー/CD-R/DVD-R）でご持参ください。動画を使用する場合やMacintoshで発表される方は、必ずご自身のPCをご持参ください。

またはWindowsであっても、特殊なフォント、アプリケーション、動画などがある場合はご自身のPC本体をご用意ください。

- 4) PCをお持込みになる場合（Windows、Macintoshとも可能）
  - (1) コネクターの形状は、ミニ D-sub 15 ピン、HDMIです。  
外付の接続ケーブルを必要とする場合は、必ずご自身でご持参ください。
  - (2) ACアダプターは、必ずご用意ください。
  - (3) 発表中にスクリーンセーバーや省電力機能が作動しないようにしてください。
  - (4) スリープからの復帰時、起動時のパスワードは解除しておいてください。
  - (5) ご自身のPCと共に、バックアップ用のデータ（USBフラッシュメモリー、CD-R）をご持参ください。
  - (6) PCは、セッション終了後、口演会場内左手のPC オペレータ席にてご返却いたします。
- 5) メディアをお持込みになる場合
  - (1) 使用可能なメディアは、USBフラッシュメモリー、CD-R、DVD-Rのみです。  
CD-R/DVDに書込みの際にはハイブリッド（ISO9660）フォーマットをご利用ください。  
パケットライト等の特殊な書込み機能は読み込めないことがありますのでご使用にならないでください。
  - (2) お持込みのメディアには、当日発表されるデータ以外は入れないようにしてください。
  - (3) 会場に設置される機材のスペックは、下記の通りです。  
OS：Windows 10  
プレゼンテーションツール：Microsoft PowerPoint 2010、2013、2019  
スクリーンサイズ：ワイドスクリーン（16：9）
  - (4) Macintoshで発表される場合は、必ずご自身のPCをご持参ください。
  - (5) 動画を使用する場合は、必ずご自身のPCをご持参ください。
  - (6) 使用フォントは、特殊なものではなく、Windows標準搭載のものをご使用ください。  
日本語の場合：MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝  
英語の場合：Century、Century Gothic、Times New Romanなど
  - (7) 保存時のデータファイル名は、「演題番号\_演者名.ppt（または.pptx）」としてください。
  - (8) メディアを介したウイルス感染の事例がありますので、最新のウイルス駆除ソフトでチェックしてください。
  - (9) コピーミスを防ぐため、データコピー作成後、他のパソコン

ンで正常に動作するかチェックしてください。

- (10) メディアは受付後にご返却いたしますが、念のため、発表時にご持参ください。
- (11) 学会で使用したデータは、終了後に消去いたします。
- 6) 発表用データに他のデータ（動画・静止画・グラフ等）をリンクさせている場合は、リンクしているファイルをパワーポイントファイルと同一フォルダに保存し、他のPCでの動作確認を行ってください。
- 7) 発表スライドの1枚目は、表題スライド（演題名・演者名等）にしてください。  
また、COI状態の開示は2枚目のスライドに表示してください。
- 8) 発表時は、ご自身で演台に設置されているマウス・キーボードを操作してください。
- 9) スムーズな進行のために、発表者ツールの使用はご遠慮ください。

#### Web参加の場合

Zoomでご参加の場合は、事前に電子メールでお知らせしたZoom URLと登壇方法をご確認のうえ、指定の時間までにZoomへ接続してください。なお、Web参加にあたっては、安定したインターネット環境での操作をお願いします。可能であれば、有線LANを推奨いたします。

## 5. 同時通訳

本学会では行いません。

## 6. 利益相反の開示

一般社団法人日本脳神経外科学会では利益相反「Conflict of Interest（以下COIと略す）」状態を適切にマネジメントする「医学研究のCOIに関する指針および細則」を定めました。（平成24年1月1日より施行）

また、日本医学会のCOIガイドライン改訂を受け、一般社団法人日本脳神経外科学会のCOIに関する指針および細則が改訂されました。（平成26年11月1日より改訂）

改訂点は、1) 申告・開示の対象期間が過去1年間から過去3年間に拡大された 2) 寄付講座や奨学寄付金などの外部資金で雇用されている研究者については、従来のように母教室だけの所属名ではなく、寄付講座名や資金提供企業を明記することが必要になった、という2点となります。

本学術総会では、上記改訂内容に基づき、すべての発表者に対して、口頭発表の場合は発表スライドの2枚目（タイトルの後）

に、ポスター発表者はポスターの最後部に利益相反の開示を必ず提示いただきます。

掲示する様式は次の通りです。詳細および様式のテンプレートにつきましては学会ホームページにも掲載しております。

スライドでのCOI開示（サンプル）

1) 開示すべきCOIがない場合

開示すべきCOIがない場合のスライド 様式1

**脳動脈瘤の外科治療(演題名)**

日本脳神経外科病院(施設名)

脳外科 太郎(氏名)

筆頭演者は日本脳神経外科学会へ過去3年間のCOI自己申告を完了しています  
本演題の発表に際して開示すべきCOIはありません

2) 開示すべきCOIがある場合

開示すべきCOIがある場合のスライド

**脳動脈瘤の外科治療(演題名)**

日本脳神経外科病院(施設名)

脳外科 太郎(氏名)

筆頭演者は日本脳神経外科学会へ過去3年間のCOI自己申告を完了しています

開示すべきCOIがある場合のスライド

## 筆頭演者のCOI開示

日本脳神経外科学会へのCOI自己申告を完了しており、  
過去3年間(いずれも1月～12月)において本講演に関して開示すべきCOIは以下の通りです

1. 役員, 顧問職 なし
2. 株の保有 なし
3. 特許権使用料 なし
4. 講演料 あり(〇〇製薬)
5. 原稿料 なし
6. 研究費 あり(〇〇製薬)
7. その他 なし

金額は開示不要

日本脳神経外科病院(施設名)

脳外科 太郎(氏名)

寄付講座在籍の研究者や奨学寄付金などの外部資金によって  
雇用されている研究者からの演題応募の場合には、

所属は母教室ではなく、所属施設・機関で使われる正式名称を記載し  
その資金を提供している企業名を併記することが求められる

寄付講座のみ表記

〇〇大学 YZ寄付講座(同寄付講座はA製薬の寄付金にて支援されている)

or

寄付講座と母教室の併記

〇〇大学 脳神経外科・YZ寄付講座(同寄付講座はA製薬の寄付金にて支援されている)

複数の企業からの寄付金や外部資金による場合は  
年間200万円以上の企業については該当する企業名をすべて記載